

# 平木ひろみ 本会議で議案外代表質問に立つ!

本会議での発言には、市長から提案された予算や決算などの議案に対する「質疑」を行う場合と、議案には関係なく市政で課題となる点について「質問」をする場合があります。今回は「議案外質問」と呼ばれ、後者に当たります。現在の神戸市が抱える課題について代表質問に立ちました。

質問の概要については、2ページに掲載していますが、質問内容の詳細についてはホームページをご覧ください。

## 「真の国際人」を育てるには?

平成23年4月から、「小学校外国語活動」が小学校5、6年生で35時間が必修となりましたが、小学校現場で抱える課題が多くあります。代表質問の中で「真の国際人」について意見を述べました。その部分を抜粋して掲載します。

\*\*\*\*\*

私は駐在員家族として、アメリカで6年間生活をし、子ども達3人を現地の幼稚園、小学校に通わせました。私達夫婦が一番大切だと考え、周囲が英語ばかりの環境の中で、家庭で努力したのは、子ども達を「日本人として」育てることでした。日本語を自由に聴き話し、日本文化を理解し、しっかり日本語で考えることができなければ、誇りを持った日本人として育ちません。誇りを持った日本人として育たなければ、真の国際人になることはできないと考えました。

私は、そういった意味において、小学校外国語活動はしっかりと目標を見定めて進めなければ、国際人を育てるところか、英語アレルギーを生むという、全く逆の結果になってしまうのではないかと危惧してうました。しかし、コミュニケーション能力の育成を図ることが目標であり、小学校の時期に英会話能力を育てることを主眼としないという方向性が文部科学省で固まってきたことで、むしろ積極的に推進していきたいと考えるようになりました。(中略)

神戸市では、学級担任が中心となって授業を進めることを基本とし、英語を母語とするALTが定期的に各小学校に派遣され、必要に応じて地域人材であるES(イングリッシュサポーター)の協力を得ることになっています。信頼できるESを、学級担任の頼れるサポーターとしてしっかりと位置づけ、学級担任に過度な負担を強めないよう、学校間格差が生じないよう、有効に活用していく道筋を教育委員会がつけていくべきです。

会派として市長に伺うべき項目と併せて、私のライフワーク「真の国際人を育てる」というテーマに沿った質問をしました。私は、海外留学や駐在生活をし、英語を使って仕事をしてきた経験から「誇りをもった日本人」であってこそ「真の国際人」となれる、という信念を持っています。神戸の将来を担う次世代の育成を見据えた政策提言をし続けます!

## 第1回神戸マラソン大成功!



◀ゴール後の地点で

11月20日に第1回神戸マラソンが開催されました。秋晴れの天気にも恵まれ、23000人のランナーが神戸市内を走り抜け、沿道からは52万人を超える市民の方々が、ランナーに温かい声援を送って下さいました。ボランティアとして大会を支えてくれた6000人の方々とともに、「感謝と友情」を掲げて開催された大会は、大成功に終わりました。

大会終了後、ランナーや市民・ボランティアから寄せられている多くの意見を活かして、次回開催につなげていきたいと検討が始められています。

神戸はマラソン発祥の地です。1909年に湊川から新淀川西成大橋まで走ったのが日本での初マラソンと言われていきます。神戸の魅力満載の神戸マラソンを市民の皆様と一緒に継続開催していきたいものです。



▶普段は車しか通れない神戸大橋を色とりどりのランナー達が走る!

## 浸水避難時の留意事項

- ①水が流れている時は避難しない。
- ②水が濁っているので、一歩ずつ足元を確認しながら避難
- ③リュックは浮力があるので役に立つが体の前に抱える。
- ④無用な傷を受けないよう、長そで長ズボンで避難する。
- ⑤長靴は水が入ってしまうのでだめ。ひもで絞める運動靴
- ⑥必ず二人以上で行動する。
- ⑦車は使わず徒歩で避難する。

ご家族でも共通認識を持てるよう、確認してください。

### 平木ひろみ事務所

〒650-0045  
神戸市中央区港島1-1-9-407  
TEL (078) 303-1319  
FAX (078) 322-6161  
MAIL hiromi-hiraki@kobe-minshu.jp  
URL <http://www.hirakihiro.com>

神戸市会議員(中央区)

# 平木ひろみ

2012年 新春号  
市会報告